

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年6月16日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	理工学部情報科学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年6月12日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	台湾
留学先大学	国立台湾大学(日本語名) 國立台灣大學(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	中国語/中国語・英語
留学期間	2023年8月～2024年6月
留学先大学で在籍した学年	1年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 電気情報工学部 現地言語での名称: 電機資訊學院 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 9月上旬～12月下旬 2 学期: 2月中旬～6月上旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 35000 人
創立年	1928 年

b

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (元)	日本円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため、授業料は免除
宿舍費	180000	900000円	寮に入れず、学校近所のアパートを借りたため
食費	75000	375000円	一日平均 1500円
図書費	0	0円	教科書を購入する必要がなかった
学用品費	300	1500円	A4 白紙、関数電卓
携帯・インターネット費	3000	15000円	余ったギガ数だけを継続させるプランを利用した
現地交通費	10000	50000円	外出する際に MRT や HSR を利用した (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	2400	12000円	作業効率化アプリのサブスクや美術館など
被服費	0	0円	服は日本から持って行ったもので十分だった
医療費	200	1000円	風邪薬
保険費	2000	100000円	形態: 明治大学の保険
渡航旅費	16000	80000円	往復料金
ビザ申請費	6000	30000円	申請に必要な健康診断の金額を含む
雑費	15000	75000円	日用品や交際費
その他		円	
その他		円	
合計	310000	1550000円	節約を意識せずに生活した結果

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 東京(羽田空港) 目的地: 台北(松山空港) 経由地:
復路 出発地: 台北(松山空港) 目的地: 東京(羽田空港) 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: Japan Airlines 料金: 80000 円
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: JAL 公式サイト) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
PAPAGO というサイトを利用した
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
寮に入れるのであれば、それが一番良いです。アパートで借ると家賃がおよそ2倍になります。台湾のアパートではキッチンが部屋に無い場合が多いため、自炊をする機会は少ないと思います。家を探す際は近所に Ubike があると便利です。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地のニュース番組から情報収集して、危険な事が発生している場合は常に留意するようにしていました。台湾の治安は良い方であるため、犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯電話やインターネットは特に問題なく使用することができました。大学校舎内のインターネットの電波が少し弱いと感じました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の銀行キャッシュカードを既に取り得ていたため、そこから毎月一定額を引き出していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

台湾では日本の商品やお店がたくさんあるため、基本的には日本から持っていく必要はないと思います。その例外として、薬は日本から持っていくと良いです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Formal Languages and Automata Theory	自然言語とオートマトン理論
科目設置学部・研究科	DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE & INFOR
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	CHIH-JEN LIN
授業内容	オートマトンと言語 計算の数学的モデル 計算可能性理論 コンピュータで解ける問題と解けない問題 複雑性理論 なぜ一部の問題は難しく、他の問題は簡単なのか?
試験・課題等	2週間に1回課題がある。小テストが3回。
感想を自由記入	オートマトンについての全体図を学ぶことができる。オートマトンがどういう場面で活用されるのかを学べる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Computer Science and Information Technology (I)	コンピュータサイエンスとIT (I)
科目設置学部・研究科	COLLEGE OF ELECTRICAL ENGINEERING AND COMPUTER SCIENCE DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE & INFOR
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	HSIN-MU (MICHAEL) TSAI
授業内容	本講義は複数の教員によって共同で行われ、基本的に各教員が2週間ずつ特定のテーマを講義します。
試験・課題等	先生ごとに課題の内容が異なる。期末試験がある。
感想を自由記入	それぞれの教授から研究の話を知るので、将来何を専攻にするかを考える良い機会になる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Computer	コンピュータ概論
科目設置学部・研究科	DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE & INFOR
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	YUNG-YU CHUANG
授業内容	この講義はコンピュータの動作原理について学びます。授業では『The Elements of Computing Systems』という本を使って、基本原理から最新のコンピュータを構築する方法を学ぶ。その過程で、スイッチングデバイス、組み合わせ論理、順序論理、コンピュータアーキテクチャ、機械語、アセンブリ言語、仮想マシン、コンパイラ、高水準言語、オペレーティングシステムに関する基本原理を学ぶ。
試験・課題等	2週間に1回課題がある。中間試験、期末課題がある。
感想を自由記入	コンピュータについての基本的な仕組みを学ぶことができる。期末課題ではアセンブリ言語でゲームを作成する機会があるため、アセンブリ言語を書く経験もできる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Computer Networks	コンピュータネットワーク
科目設置学部・研究科	DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE & INFOR
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	CHENG-FU CHOU
授業内容	Wireless and Mobile Networks Multimedia Networking Security in Computer Networks Network Management
試験・課題等	課題が合計4回。中間試験前に2回、期末試験前に2回。
感想を自由記入	教授が丁寧に指導して下さいのため、講義内容が分かりやすい。課題も試験も他の授業と比べると難しくはない。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Solid State Electronics	固体電子学
科目設置学部・研究科	COLLEGE OF ELECTRICAL ENGINEERING AND COMPUTER SCIENCE DEPARTMENT OF ELECTRICAL ENGINEERING
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	JIUN-YUN LI
授業内容	I. FUNDAMENTAL PROPERTIES OF ELECTRONS 6) WAVE PACKETS, GROUP VELOCITY, EFFECTIVE MASS II. STATISTICS OF PARTICLES 4) EXCESS CARRIERS AND EXCESS CARRIER LIFETIME III. PROPERTIES OF ELECTRONS IN SOLIDS 4) MASER AND LASER
試験・課題等	2週間に1回。中間試験と期末試験がある。
感想を自由記入	半導体の仕組みについて詳しく学べる授業。数学や物理、化学の知識を知っている前提で授業が進むため、進度はかなり早く感じた。課題は難しいが、試験内容は課題程難しくはない。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Web Programming	ウェブプログラミング
科目設置学部・研究科	COLLEGE OF ELECTRICAL ENGINEERING AND COMPUTER SCIENCE DEPARTMENT OF ELECTRICAL ENGINEERING
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	CHUNG-YANG HUANG
授業内容	HTML, CSS, JavaScript から始まり、様々なフレームワークに触れつつ、フルスタックのプロジェクトを作り上げることを目指す。
試験・課題等	3週間に1回課題がある。中間試験の代わりに2回ハッカソン形式の小テストがある。期末課題ではグループで一つのアプリを作る。
感想を自由記入	この授業を履修すると、一週間のほとんどの時間をこの授業の課題に費やすことになる。授業進度はとても早く、基本的には自分で調べて勉強することが多い。とても疲れる授業ではあるが、学べることは数えきれないほど多い。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Computer System Laboratory	コンピュータシステムラボ
科目設置学部・研究科	COLLEGE OF ELECTRICAL ENGINEERING AND COMPUTER SCIENCE DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE & INFOR
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	LUNG-PAN CHENG
授業内容	この講義はソフトウェアとハードウェアの統合および動作するコンピュータシステムの構築に焦点を当てている。トピックには、タッチパッド、ウェアラブルデバイス、モーショントラッキング、触覚デバイス、自律走行車の構築が含まれる。
試験・課題等	課題の代わりにグループで行う実験が2週間に1回ある。中間試験と期末試験がある。
感想を自由記入	課題となる実験の内容はテーマ別で分かれているため、いつも新しいことに取り組むことになる。試験内容は主に実験で習ったことや授業内容に基づいて出題される。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Data Structures and Algorithms	データ構造とアルゴリズム
科目設置学部・研究科	DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE & INFOR
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	HSUAN-TIEN LIN
授業内容	基本的なデータ構造とアルゴリズムを習得する。
試験・課題等	コーディングの課題と筆記の課題がそれぞれ3週間に1回ある。中間試験と期末試験がある。
感想を自由記入	この講義では教授方が生徒に対して大いに期待をしているため、授業の難易度はとても高くなっている。特に課題が難しいため、TAと相談しつつ、仲間を探すことが重要になる。試験の難易度も難しいため、試験勉強もしっかりと対策する必要がある。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Discrete Mathematics	離散数学
科目設置学部・研究科	DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE & INFOR
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	GEN-HUEY CHEN
授業内容	計数技法(包含排除原理、母関数、再帰関係を含む) 代数(関係、ブール代数、環、群を含む) グラフ理論(グラフ、部分グラフ、グラフ同型、グラフ探索、連結性、経路、マッチング、最大フローを含む)
試験・課題等	毎回前回の授業内容の小テストがある。試験内容は3つのテーマをそれぞれ1回ずつ扱う。
感想を自由記入	基本的な離散数学の内容に限らず、データ構造とアルゴリズムの分野へどのように活かせるのかも学べる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Foundations of Artificial Intelligence	人工知能概論
科目設置学部・研究科	DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE & INFOR
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	SHANG-TSE CHEN
授業内容	人工知能は、コンピュータに問題解決、知識の学習、情報の演繹などの能力を持たせることを目的としている。現代のコンピュータシステムの進展に伴い、人工知能技術はさまざまな側面で人々の生活に影響を与えている。本講義では、人工知能の歴史における三つの主要な軸(最適解の探索、データからの学習、論理と知識の推論)から、これらの軸における核心的な課題を紹介する。
試験・課題等	4回課題がある。中間試験前に2回、期末課題前に2回。期末試験の代わりに期末課題がある。
感想を自由記入	各課題では必ずコーディングの課題が出題され、そこではAIを作る練習や機械学習のモデルを構築する。最終課題では自分で作ったAIをクラスメイトと対抗させるトーナメントがあるため、これまで学習した内容の存分に活用する機会がある。自分で調べることが多いが、得られるものはたくさんある。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Operating Systems	オペレーティングシステム
科目設置学部・研究科	DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE & INFOR
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	FANG-JING WU
授業内容	1. オペレーティングシステムの紹介 2. プロセス管理 3. プロセス同期 4. メモリ管理 5. ストレージ管理 6. ファイルシステム
試験・課題等	2週間に1回、課題がある。中間試験と期末試験がある。
感想を自由記入	OSについての基本的な知識を学ぶことができる。課題では、xv6が使用される。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Edible Insects	食用昆虫学
科目設置学部・研究科	DEPARTMENT OF ENTOMOLOGY
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	SHELOMI MATAN
授業内容	食用昆虫についての紹介や世界にどのような影響をもたらすのかを学ぶ。
試験・課題等	毎回の授業に関するレポートがある。中間レポートがあり、期末試験の代わりに期末レポートがある。
感想を自由記入	毎回新たな昆虫に焦点を当てるため、楽しく授業を受けられる。授業では自分で食用昆虫を食べることができる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Exploring Taiwan: natural environment and resources	探索台湾: 自然環境と資源
科目設置学部・研究科	SCHOOL OF FORESTRY AND RESOURCE CONSERVATION
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	HSIAO WEI YUAN
授業内容	台湾の主要な動植物について、一通り学ぶことができる。
試験・課題等	毎回授業の出席点がある。フィールドワークがある。期末試験がある。
感想を自由記入	教授が動物を教室に連れて来たり、グループで動物園に行ったり、楽しく授業を受けることができる。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)	
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等	
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。	
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。 留学先では履修する授業数は少なくとも済みますが、できる限り多くの授業を取ってチャレンジし続けることが大事だと思います。また、帰国後には資格取得を目指すが良いです。	
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	出願・選考
	8月～9月	
	10月～12月	面接
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	航空券購入・ビザ申請
	8月～9月	アパート探し・渡航・前期開始(9月上旬)
	10月～12月	中間試験(10月中旬)・期末試験(12月下旬)・前期終了
留学/帰国年	1月～3月	冬休み・後期開始(2月中旬)
	4月～7月	中間試験(4月上旬)・期末試験(6月上旬)・後期終了・帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

台湾は生活しやすい国だと思います。物価は日本より少し安いことが多く、食べ物も美味しい。台北ならば交通網も発達しており、治安も良いと感じました。また、親日の方も比較的多く、日本人だからこそ優遇されることもありました。台湾大学には多くの学部が存在し、どこも優秀な人が数えきれないほどいます。その中でも台湾大学は特に理系の学部が優れていると言えます。TSMCが世界に与える影響力がきっかけに情報系や機械系の授業が年々改良されています。半導体に限らず台湾はソフトウェアにも強いいため情報系の学部ではかなり多くの専門分野について学ぶことができます。近年は専ら人工知能や機械学習に力を入れているそうです。実際に講義を履修してみると、周りには優秀な人だらけで最初は怯んでしまうかもしれませんが、いかにその講義を最後までより遂げるかを考えることが一番重要だと感じました。その際に大きな戦力となるのが TA の方々です。彼らと上手く協力し合っていけば上手くいくことは多かったです。宿題の量が多くて頻度も高いため、中々遊ぶ時間を確保できるなるかもしれませんが、それ相当の大きな収穫を得ることができます。授業は中国語で行われることが多いですが、理系の学部ならば英語で開講されている授業も少なくありません。また、授業で使われるスライドや資料は基本英語で書かれており、課題や試験も英語で書かれているため、英語が得意な方であれば十分に授業を理解することができると思います。台湾大学の理系へ留学される方は、できる限りその学部の授業を多めに履修することを推奨します。そこから得られる学びや体験、人間関係はと留学においてとても貴重な存在になると思います。